

みなお通信

高崎市議会議員 高橋美奈雄

〈市政相談連絡先〉

〒370-0041

高崎市東貝沢町2丁目32-6

TEL&FAX 027-363-2733

E-mail: minao.t@jcom.home.ne.jp

3月市議会定例会報告

平成25年第1回市議会定例会は、2月25日から3月19日までの23日間の会期で開かれました。本定例会では、平成25年度高崎市一般会計、9特別会計、上・下水道事業会計の各予算、高崎市第5次総合計画基本構想の変更について、包括外部監査契約の締結についてなどの議案の審議を行い、いずれも原案のとおり可決しました。

3月定例会は新年度予算を議決する重要な議会で、市長の施政方針や財務部長の提案説明を受けた後、総括質疑を行い、市長が答弁しました。また、各分野の事業内容については、4つの常任委員会と都市集客施設調査特別委員会において詳細に審議が行われました。

《平成25年度予算関係報告》

一般会計予算は、前年度比0.6%減の1,523億9,000万円（前年度比8億6,000万円の減）、特別会計、企業会計を合算した総予算額は、2,461億2,765万円となりました。

『徹底した事業費の削減』、『重点事業の積極的な推進』、『人件費の圧縮』の3つを基本方針の柱とし、市民生活の安全・安心、新しいビジネスや産業・雇用の創出などの展開を目指します。主だったものだけで105項目の経費削減、49人の職員減員を行い、限られた予算をいかに効果のある事業に配分していくかを重視しています。

財政の健全性を確保しつつ、中核市としてさらに成長・発展していく積極的なまちづくりを進めるための予算編成に取り組んだといえるでしょう。

25年度予算の主要（新規）事業

- ★ 保育所入所待機解消支援事業補助金（福祉部）101,760千円
- ★ 救急医療体制緊急改善対策（保健医療部）178,223千円
- ★ 城南野球場改修事業（教育部）54,500千円
- ★ まちなか商店リニューアル助成（商工観光部）100,000千円
- ★ 新体育館建設事業（都市整備部）126,595千円



三月定例会

市政に対する一般質問

一般質問は、四日間にわたり三十人の議員が行い、高橋みなお議員は、二日目に登壇し質問しました。以下、概要を報告します。

集客力と本市への満足度向上について
「今、高崎に必要なものは、
取り組むべきこととは」

質問

新年度において、新体育館建設やスマートインター整備事業などの多額な予算が計上され、県のコンベンション施設整備とともに本格的に動き出すと認識している。本市を訪れる方々の満足度を高めるための施策は、施設が完成してからでは遅く今から取り組む必要があるが、どのように捉えているのか。

答弁

交通拠点性が優れていることや自然災害が少ない都市であると同時に、人が集まるための仕掛けや本市に進出を予定している企業を支援するための材料が求められると考えている。

質問

施設整備が順調に進み、全国から多くのお客様が集まると仮定すれば、食事・宿泊・お土産等の対応やアイデアが必要に

なる。行政内部だけの組織では限界があり、コンベンションビューローと一体となり総合的に対応できる専門部門が必要と考えるが見解は。

答弁

観光協会や商工会議所などとの連携により、シテイセールスや人的交流を図るためのエリアマネジメントビューローの設置を計画している。集客施設の利用促進のために総合的観点から企画できるよう進めたい。

質問

何を都市の魅力にするかというビジョンがリピーターの確保につながるかと考える。再度訪れたい、施設を利用したいと思ってもらえるような戦略についてはどのようなか。

答弁

質の高い接客、親切な案内表示やユニバーサルデザインの導入など、来訪者に優しい「おもてなしの環境」を地域全体で整備することが重要と考えている。

質問

以前から本市には「食文化」が乏しいといわれるが、パスタやオープンカフェなど民間の力が大きな食のイベントを単発で終わらせないための工夫も必要である。高崎駅の東西自由通路の有効活用なども含め検討されているのか。

答弁

「食」の体験は、来訪者が抱くその地域のイメージづくりの重要な要素であり、食の最大サイト「ぐるなび」と連携してプロモーションを進めている。

また、都市集客施設や新体育館の整備を見据え広域的な集客力を中心市街地全体に波及させるためには、駅東西自由通路は重要な役割を持ち、機能を高める必要があると考えている。

質問

北陸新幹線の金沢延伸も間近に迫っているが、効果への期待は感じても、通過都市に対する危機感が伝わってこない。現状の計画は、本市の都市集客事業の完成形ではないと考える。財政的課題が最優先ではあるが、将来的にどのように展開していくものと考えているのか。

答弁

今後、大きな戦略が必要となるが、「人、もの、情報、文化」の集積するまちづくりを推進し、集客の相乗効果を経済の活性化につなげていきたい。

後記

全国的なブームにもなっている「ゆるキャラ」ですが、サービス精神のお手本となり、まちのイメージアップにもつながるとあって苦労も多いようです。グランプリで全国3位に輝いた『ぐんまちゃん』も決めポーズやかわいいしぐさをマニュアル化し、県の宣伝部長としてさらなるレベルアップを図るとか…

イベントが増える季節、本市の『タカポン』も出番が多くなるよう活躍に期待したいものです。